

# 「第3回後志利別川流域タイムライン検討会」

平成30年1月18日（木）瀬棚町民センターにおいて、「第3回後志利別川流域タイムライン検討会」を開催しました。第3回検討会では、前回検討会までに抽出・整理した防災行動に対し、実施の判断や中心となる機関、補助する機関など、防災行動ごとの役割を整理・検討しました。

- 開催日時 平成30年1月18日（木） 13：30 ～ 17：00
- 実施場所 瀬棚町民センター
- 参加機関 今金町、せたな町、函館開発建設部、函館地方气象台 他 13機関 50名

## 開会

開会にあたり函館開発建設部今金河川事務所の秋山所長より挨拶があり、「事前に送付して確認いただいたタイムライン素案を本日の検討で合体させる、検討会の山場を迎えました。長丁場の検討会になるかもしれませんが、よろしくお祈りします」と述べました。

その後、検討会への新たな参画機関について説明がありました。



函館開発建設部  
今金河川事務所  
秋山所長

## タイムラインステージの設定について

第2回検討会までの検討事項を基に、事務局にて検討したタイムラインステージ案の説明がありました。

タイムラインステージとは防災関係機関が警戒レベルを共有して行動できるように、防災行動の段階を示したものです。

本タイムラインでは1から7までのタイムラインステージに区分した事務局案が提示されました。



会場全体の様子

## グループワーク

5つの班に別れ実施したグループワークでは、これまでに抽出された防災行動項目に対し、どの機関がどの様な役割を実施するのかを検討しました。

各機関は、行動の決定・実施・支援と情報の発信や受信等、それぞれの項目に対し、いつ、誰が、何をすべきなのかを検討・確認しました。



今金町役場班



せたな町役場班



災害協定会社班



関係機関班

## 講評

本日の検討会全体を通し、函館開発建設部今金河川事務所の秋山所長の講評では、「事後確認が必要な班も有るが、引き続きご協力をお願いしたい」との挨拶があり、閉会となりました。